

1 学級全体で取り組む・PBIS

松山康成

ここでは、PBIS (Positive Behavioral Interventions and Supports : ポジティブな行動介入と支援) のシステムを学級へ導入するための手順を紹介します。

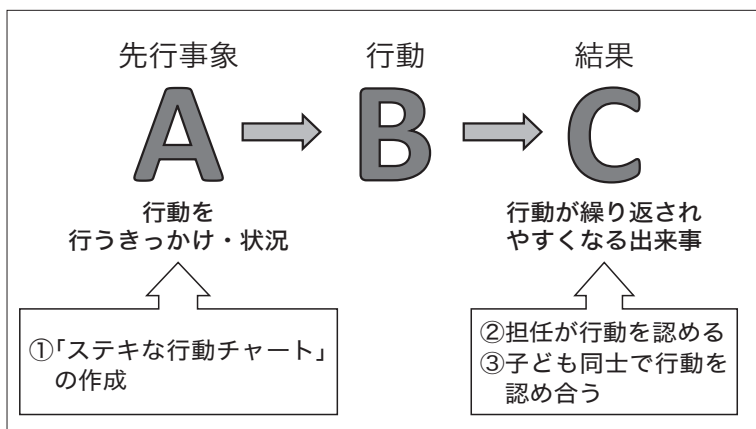
学級には勉強をがんばれる子、スポーツが得意な子など、さまざまな子どもがいます。2012年に文部科学省が行った「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」においては、担任教員の回答した内容から、通常の学級の6.5%の児童生徒は、学習面または行動面で著しい困難を示すとされています。

子どもの困った行動が増えていくと、どうしても学級担任の叱責や注意などのネガティブな指導も増えてしまいます。そこで、問題が起こる前に、積極的 (ポジティブ) に、予防的に取り組むことが求められています。叱責や注意といったネガティブな指導ではなく、子どもたちの望ましい肯定的 (ポジティブ) な行動を育て、引き出すためのシステム、学級全体で取り組むPBISの導入を図りましょう。本章では、「ポジティブな行動」を子どもたちと共有できる言葉とするため、「ステキな行動」と称して進めます。

PBISでは、子どものステキな行動を引き出すようなきっかけ・状況 (A : 先行事象) を積極的につくり、ステキな行動 (B : 行動) ができたら、それにいい結果 (C : 結果) が伴うようにすることで、子どもたちがステキな行動を自発しやすく、続けやすい環境をつくっていきます。

学級全体で取り組むPBISでは、学級でステキな行動 (B) を増やして

資料2-1-1 学級で取り組むPBISの「行動のABC」



いくために、行動のABCにおけるAとCに対して取り組みを行っていきます。Aに対する取り組みとして「ステキな行動チャート」の作成、そしてCに対する取り組みとして担任が主体となって行動を認める取り組みと、子ども同士で行動を認め合う取り組み (資料2-1

-1)、加えてデータに基づいた行動のフィードバックを計画します。

ここでは実際の実践に触れながら、具体的に取り組みの手順と方法を紹介します。

1. 「ステキな行動チャート」の作成

学級全体で取り組むPBI Sを導入するために大切なことは、担任と学級全員が、みんなのステキな行動に目を向けることです。ステキな行動に目を向けていくことで、ポジティブな行動は共有されていきます。しかしここで重要なのは、子どもたちと学級担任にとって“何がステキな行動なのか”ということです。学級担任が求める学級で大切にしたい行動と、子どもにとっての大切な行動は違います。そこで学級におけるステキな行動を考え合って整理して行動チャートを作成します。

授業計画

3時間の授業（資料2-1-2）を通して、学級におけるステキな行動を学級全員で考え合い、みんなで共有していくために、行動を表に整理した「ステキな行動チャート」を作成します。

行動チャートを作成していくうえで大切なことは、学級で大切にしたい“行動”を考えることです。そしてその行動に基づいて、自分たちが大切にしたい“価値”を決めることです。

学校全体でPBI Sに取り組んでいる場合は、学校で策定された行動チャートをもとに、自分たちの学級で大切にしたい行動を、学校の行動チャートに書き足していくという手順がいいでしょう。

資料2-1-2 授業計画

時間	授業のめあて	主な学習活動
1	学級の中のステキな行動は何か？	・日頃の生活を振り返り、子どもたちにとってステキな行動を出し合う。 ・個人で考えたものを、班で集約する。
2	学級で大切にしたい価値を決めよう！	・1時間目で出された行動を全員で共有し、学級で大切にしたい価値を決める。
3	「ステキな行動チャート」をつくらう！	・ステキな行動を、学級で大切にしたい価値と場面に分けて整理する。

ここがポイント!

教師と子どもが一緒になって学級で大切にしたい行動を考え合います。

時間	展開	具体的な学習活動・発問	指導上の留意事項
1時間目	導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・本日のめあてを確認する。 「学級の中のステキな行動は何か？」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ステキな行動とは何か、具体例を出して説明する。(例：友達が落とした消しゴムを拾ってあげる) ・学級でステキな行動をみんなができるようにしていくために、この取り組みを行うという意図を伝える。
	展開 25分	<ul style="list-style-type: none"> ・「学級の友達の中で、気持ちがいいなあ、いい行動だなあと思った経験はないですか？ また、その行動は何ですか？」 ・個人でステキな行動について考える。 ・「グループでまとめてみましょう」 ・グループで集約する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの日頃の生活において、ステキな行動があるか、また具体的にどのような行動かを発表させる。
	まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・次の時間に取り組むことを伝える。 ・本日の振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ステキな行動について考え合うことで、みんなが学級に願いを持っていることを確かめる。

1時間目：学級の中のステキな行動は何か？

- ① 「学級の友達の中で、気持ちがいいなあ、いい行動だなあと思った経験はないですか？ また、その行動は何ですか？」

どんな行動が大切か、一人ひとりが出し合います。小さな紙を配り、書かせるといいでしょう。「教室を走らない」「暴力を振るわない」など、子どもたちから否定的な言葉が出た場合は、「“〇〇しない”や“〇〇はだめ”といった言葉ではなく、“〇〇をする”という言葉で考えよう」と伝えます。目的は悪い行動を減らすのではなく、ステキな行動を学級全体で増やすことです。この言い換えは友達を否定的に見ないために、とても大切なことです。

- ② 「グループでまとめてみましょう」

4人ほどのグループをつくり、自分たちが出した「ステキな行動」をもとに話し合います。ここでは「自分もそれが大切だと思っていた」「友達はそんなことを考えているんだ」などと、他者理解を促進できます。グループでまとめが終わったら全体発表をし、行動を板書して共有しましょう。

時間	展開	具体的な学習活動・発問	指導上の留意事項
2時間目	導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・本日のめあてを確認する。 ・「学級で大切にしたい価値を決めよう！」 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間目に班で集約した行動から、学級で大切にしたいことを考え合うことを確認する。
	展開 20分	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなが出し合った行動を見て、学級で大切にしたい価値は何ですか？」 ・班で価値を考え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・価値とは何か、具体例を出しながら確認する。(例：友達、時間、安全など) ・出されたステキな行動を各グループでグルーピングし、価値を考える。
	まとめ 15分	<ul style="list-style-type: none"> ・出された価値を整理する。 ・3つから5つの価値に集約する ・次の時間に取り組むことを伝える。 ・本日の振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考え出された価値を「○○を大切にしよう」という標語にし、3つから5つの学級で大切にしたい価値を決める。

2時間目：学級全体で大切にしたい価値を決めよう！

①「みんなが出し合った行動を見て、学級で大切にしたい価値は何ですか？」

1時間目に出された行動を振り返り、その行動をグループでグルーピングし、学級全体で大切にしたい価値を決めます。この価値は、学級全体で取り組むP B I Sにおける要となります。学級全員がどのような方向に向かっていくか、何を大切にしていくかを明確にすることで、ステキな行動が実現しやすくなっていきます。

「価値」という言葉では少し難しいときは、「○○を大切にしよう」と子どもたちに示して、「○○」について考えてみるといいでしょう。

ここで紹介している手順は、ステキな行動を考えてから価値を決めていますが、学級開きの際に学級目標を決めるように、価値を先に決めてから行動を考える手順でもいいでしょう。

②3つから5つの価値に集約する

グルーピングによって出された価値を集約します。ここで大切なことは、各グループで考えられた価値を尊重して集約するということです。必ずすべてのグループの価値が学級全体の価値となるわけではありません。子どもたちの主体性を大切にするために、学級全体の価値に反映されなかったグループへのフォローを行いましょう。

ここがポイント!

学級で大切にしたい「価値」と、価値を実現する「行動」を明確にします。「○○しない」ではなく「○○する／○○しよう」に言い換えましょう。